

関連する内容項目：4－（1）

約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。（解説p.52）

事例

場面 1

第4学年社会科「ごみの処理と利用」に関する単元での指導

資源の効果的な活用や貴重さを伝えるとともに、体験を通して学んだことを他の問題と関連させながら、道徳の内容項目と併せて指導することが大切です。

<清掃工場の見学>

今日は、普段僕たちが出したごみがどうなっているのか、見学に来ました。よろしくお願いします。



ごみ収集車で集められたごみは、この清掃工場ですべて燃やしています。1日に800tぐらいになります。

最近は、皆さんがしっかり分別してくれるので、ごみの量が減って助かります。



すごいなあ、800tも燃やすのか。本当に大変ですね。

でも、分別するとなぜ燃やすごみが減るのですか？



分別されたごみは、燃やさないでリサイクルもしています。皆さんの服にもなっているのですよ。

みんながきまりを守って分別してごみを出すことが社会のためになるのですね。

皆さん一人一人がきまりを守ることに意味があるのですね。



きまりを守ることが社会のためになるということが分かったので、これからもしっかり守ります。



【指導上の留意点】

・社会のきまりについて理解し、それを守ることの大切さを児童が自発的に気付くよう発問を工夫します。

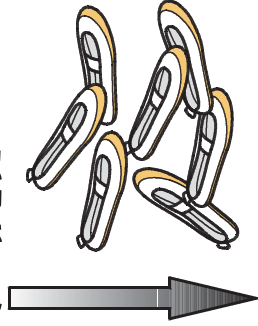
★水や電気などの資源を大切にすることやごみの再利用等について、家庭でも一緒に考えるように呼び掛け、公德心を育てることも大切です。

校外での活動は、児童の社会性を育てる上で大変貴重です。各家庭にきまりがあるように、公共の場にもきまりがあることを、体験を通して気付かせましょう。

例えは、この場面から
気付かせることに
使われていく

トイレの入りのドアには「整理整頓（せいりせいとん）」の張り紙があります。でも、中のスリッパは脱ぎ捨てられて、乱雑になっていました。

その場を見せて



乱雑な状態を放置しないように、そのトイレを使用した児童に見せてから、自分たちで直させます。

気付かせること
整えさせること

が大切です。
見逃さない！



班長会議や全体の集まりなどで



今日の生活を振り返って、先生はとても残念なことがあります。それがどんなことが分かりますか。



たぶん、トイレのスリッパのことだと思います。僕が使ったときはもう乱れていて、自分の分はそろえただけれど、それ以外はそのままにしてみました。



もともとはスリッパをそろえない人に責任がありますが、散らかっているのに気付いたら、みんなで直すようにしましょう。スリッパがきれいに並んでいるとどう感じますか？



使いやすいし、とても気持ちがいいと思います。これからは次に使う人のことを考え、きまりを進んで守るようにしたいと思います。

【指導上の留意点】

- ・きまりを「守られている」状況から「進んで守る」状況に変えるために、児童一人一人の気付きを大切にしながら指導しましょう。
- ・宿泊学習で気付いたこと、学んだことを道徳の時間や事後指導に生かして指導することが大切です。

「心のノート」との関係

「やくそくやきまりを守るから仲よく生活できる」(pp. 72-75)

「ルール・マナー教材集」との関係

「学業指導の充実に向けて」との関係

「みんなが使おうものや場所」(pp. 37-39)

「規範意識の高い学級づくり」(pp. 12-15)

関連する内容項目：4－（2）

働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。（解説p.52）

事例

場面1 学級活動（2）「係活動の大切さを考えよう」での指導

係活動をよりよいものにするために、これまでの自分の体験や友達の活動の様子と関連させながら話し合い、進んでみんなのために働く価値に気付かせるような指導が大切です。

授業の展開部分で、自分や他の係について日頃思っているよさを発表しました。



掲示係

掲示係さんが頑張ってくれているから、教室の壁にいろいろなお知らせがあって助かります。

季節によって貼りかえもあるから忙しいけれど楽しいです。もっと見やすくなるように貼る位置とか、見出しとかを工夫していこうと思います。



掲示係

僕は美化係だけど、最近プランターの花が元気ないから何とかしたいと思っています。

きれいに咲いた花を見るととてもいい気持ちになります。世話は大変だけど、みんなに喜んでもらえると思います。



美化係



話し合いを聞いて、友達の仕事に感謝していることがよく伝わってきました。一生懸命仕事をするのはとても大切ですね。これは、みんなのために働くことにもつながっています。みんなが気持ちよく過ごせるために、今日見直した内容を実践していきましょう。

僕は、イベント係としてみんなに楽しい企画を紹介できるように頑張ります。



【指導上の留意点】

- ・仕事のやりがいや自己有用感を育てられるようにしていくことが大切です。
- ・話し合いは、ややもすると批判的になりがちです。温かい雰囲気での発言させ、気付きを実践に結び付けていこうという気持ちを促していくことが大切です。

場面 2

清掃活動の指導（事後指導）

清掃指導においては、縦割り班等を生かして共同作業のよさを感じ取り、みんなで助け合いながら、進んで活動に取り組むことができるように指導することが大切です。また、みんなで一緒に汗を流すことを通して、協力して働く喜びに気付かせます。



今日から新しい清掃場所になりましたが、やってみてどうでしたか。

床掃除を頑張りました。雑巾がけは、力が必要だし時間がかかるから、2年生の隣に並んで一緒にふきました。

3年生



一人で机を運んでいたから大変だったけれど5年生が来てくれて一緒に手伝ってもらったから助かりました。



6年生

窓ふきをしていたときに、ベランダにあったプランターの花が枯れそうだったので、水をあげました。



4年生

（全体を集めて話をする場面）



全員で協力して、しっかり掃除ができましたね。上級生の働きぶりにみんな感心していましたよ。そして、一人一人が自分の分担を頑張ったから、とてもきれいになりました。

みんな、どんな気持ちがしますか。この場所を誰もが気持ちよく使えますね。

【指導上の留意点】

- ・働いた後のすがすがしい気持ちを意図的に取り上げて、みんなのために働くことの充実感を感じ取れるように指導することが大切です。
- ・教師も共に働きながら、児童の姿を見取り、個人的にその場で児童の頑張りを認めてあげましょう。

「心のノート」との関連

「みんなのために流すあせはとても美しい」(pp. 76-79)

「学業指導の充実に向けて」との関連

「当番活動の充実〈小・中〉」(p. 17)

関連する内容項目

- 2- (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。(解説p.50)
- 2- (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。(解説p.50)

事例

場面1 学級活動(2)「見直そう言葉遣い」での指導

この時期の児童は、相手の気持ちをより深く理解できるようになる反面、軽はずみな言動から相手に嫌な思いをさせてしまうことがあります。誰に対しても思いやりを持ち、相手のことを考えて接することができるように指導することが大切です。


クラスで実施した「言葉遣いアンケート」の結果から、「友達に言われて嫌な気持ちになる言葉」について授業の導入に示しました。

うわっ、
"キモイ"
"ウザイ"


バカ

はっ？
意味不～

死ね





このような言葉が出てきました。みんなはこれを改めて見て、どう思いますか。



普段何気なく使っていたけれど、文字にしてみるとひどい言葉だと思います。

直接「嫌だ」と言われたことはなかったから気にしなかったけれど、もしかすると友達のことを傷付けていたかもしれません。

その気付きはとても大切です。何気なく言った言葉が、人の心を傷付けてしまうこともあります。これからは言葉を使うとき、どんなことに気を付けていけばよいかみんなで考えてみましょう。

【指導上の留意点】

- ・言葉遣いだけでなく、口調や話すときの表情によっても相手の心を傷付けてしまう可能性があることに気付かせましょう。
- ・「言われてうれしい言葉」や「優しさあふれる言葉」など、よい例を挙げていくことでクラスのよりよい人間関係を育むことも大切です。

場面2

休み時間での指導

休み時間は、児童にとって伸び伸びと自由に活動することのできる楽しいひとときですが、時には相手の嫌がる言動が見られることもあります。そのような場面を取り上げて、相手の気持ちを考えた行動がとれるように考えさせることが大切です。

例えばこんな場面が見られたとき...

Aさんは、サッカーの仲間に入れてもらおうと友達に声を掛けたら、背中を向けられてしまいました。友達がひそひそ話を始めたのを見て、Aさんは教室に戻り、一人ぼつんとしています。



教室にいた先生は、Aさんの様子に気づき、事情を聞いた後、サッカーで遊んでいた友達を呼び、話をしました。
〈教師の言葉掛けの例〉



Aさんが教室に戻ってきて一人でいたことを知っていましたか？

Aさんの今の気持ちに気づいてあげられることが大切ですね。自分がAさんのようにされたらどう思うのかな。

自分たちだけではなく、みんなでも楽しく遊べる方法を考えていくことが大切ですね。

〈教師の姿勢として〉

児童が問題点に気付くことができたなら、次の段階として自分たちで解決していくことができるように導いていきましょう。

【指導上の留意点】

- ・まずは相手の辛さに気付かせ、嫌がられることをしないように普段の生活の中で心掛けさせることが大切です。
- ・気の合う友達同士だけで行動しがちな児童に対しては、誰に対しても思いやりを持って接する態度を育てることが大切です。

「心のノート」との関連

「ふみ出そう ひとり立ちへのたしかな歩み」(pp. 12-15)

「礼ぎ一形を大切に心をかよわせ合う」(pp. 36-39)

「思いやりの心をさがそう」(pp. 40-43)

「ルール・マナー教材集」との関連

「心をつなぐことばかけ」(pp. 25-27)